

地域おこし協力隊

厚真町で活動している地域おこし協力隊をご紹介します！

現在活動している協力隊〈3月末現在〉

農業▷9人 教育魅力化▷3人 スポーツ▷1人
起業型▷10人 協働型▷11人 福祉▷1人

協働型協力隊

いちほら ゆうじ
市原 裕司さん

着任：令和5年4月(1年目)
出身：日高町



—これまでの経歴を教えてください。

駒澤大学附属苫小牧高等学校卒業後、まずは飲食業に興味があってその道へ進みました。札幌ではジャズバーに勤め、沖縄でハンバーガーショップで働いたこともあります。23歳ごろに北海道に戻り、花屋に就職しました。しかし、働いているうちに花粉症を発症して続けられませんでした。そこで、改めて何をしようかと。やはり自然が好きでしたし、花粉がだめであれば花以外の植物に関わってみようかと思い、試しに空知管内の農家のアルバイトをしてみました。お世話になった方が研修農家をされていたご縁で農業の道に進み、空知管内で新規就農しました。

—どのような農業をされていたのですか？

農薬や肥料を使わない「自然栽培」と呼ばれる農業です。単純に自然のままが良いという想いもあったのです

が、農業に非常にコストがかかることに疑問があって、使わずにできるならそれが良いと考えました。当初は多品目を栽培していましたが、最終的には一つに絞った方がビジネスをしやすいと考えてニンニクに特化し、3万弁ほど育てていました。

—現在の活動について教えてください。

浜厚真のテナール株式会社で飲食部門を担当しています。入社直接的なきっかけは、借りていた畑の契約期間の終わりが近づき、今後を考えるタイミングが来たことです。同社の社長とは新規就農時から、マルシェなどのイベントで付き合いがありました。今後の会社の展開を聞く機会があり、方向性に共感できたので入社を決めました。

レストランの店長として店舗運営全般を任せられていますが、商品開発なども担当しています。昨年は「鶏油そば」を開発しました。自社の鶏ガラや鶏油、鶏卵を使用した自信作なので、ぜひ食べてみて欲しいです。お客さまがおいしいと喜んでくれたときは、すごくうれしいですね。

—厚真町の印象、今後のことなど聞かせてください。

厚真町には入社をきっかけに来たのですが、若い世代も意外と多く活気があると感じています。このお店以外にも新しい飲食事業を展開していくことができればと思います。

まちの アイドル

3歳以下のお子さんの写真を募集しています。

住所、氏名(ふりがな)、生年月日、性別、両親の氏名(ふりがな)、電話番号を明記の上、まちづくり推進課企画調整グループへ。

〈メール〉 kikaku@town.atsuma.lg.jp



おやまだ・みつきさん



こいずみ・あおとさん



ほり・くれはさん